

3-1-1 桐生町万人講

桐生町 1,456 番地

昭和 30 年 11 月 7 日 高山市指定文化財

延宝 3 年 (1675)、数万の餓死者をここに埋めたもので、万人坑と呼び、後万人講と書くようになった。元和元年 (1681)、盲人色都が餓死者の供養塔を建てた。

笠のある大きな石塔は、水難除けの祈りを込めて、文化 14 年 (1817)、法華寺日在が再建したもの。「南無三世諸仏」とある石塔は、寛政 8 年 (1796)、小八賀郷大谷村荒川久治と雲龍寺存妙が大原騒動刑死者の霊を慰めるために建立した。

その他お六地蔵釈尼悪照の墓 (通称悪女の墓) 喚応是誰の墓もある。石塔の並んでいるすぐ下手付近が刑場であった。また、旧越中街道が万人講の前を通っている。

桐生町万人講史跡保存会
高山市教育委員会

説明板より